

時事新報

鐵道會の組織と望む

卷之三

改進を加へて其區域を擴め又其性質を一變して今少く實務的の協会と爲さんには今日故さらに新團體を立てするにも及ばざらんか其邊の事は擱て之を當業者取捨に一任するふととして我輩は兎に角に鐵道營業改進を目的とする會合の連に組織せられんふとを期して已まざるものなり

に譲譯中なれば兩三日中に發表せらるべし而してその実施期日は来る暦四月一日よりなりと云ふ

○大谷孤本頭守墨佛墨塗威

今回官制に於ては農商銜門を工務銜門に合併し農商工銜門と稱するに定まりたるを以て現任農商大臣嚴世永は昨日就職したりと云ふ

彌陀經を唱ふ導師唱誦して列頭に立ち新門士從ひ祐々として須彌山に於て此時既に夜、燭光やかに聽り奉樂調清響いよ／＼禮嚴なり始めて式全く丁り一同るは午後九時過ぐる頃日本の要求は二約章は兵費二百兆

ながら是れと同時に内地陸上の運輸も亦決して輕忽して置き可らず即ち外には船舶を浮べて外國の往來交渉を便にし内には鐵道を敷て全國都市の間に聯絡を通り、二者相俟てゐるを始めて富源開發の功を奏するのみならず然るに斯ら我國の氣勢を觀るに海運の事業は既に相應の進歩を現はしたるのみならず且下海員養成、船舶整備等の事に注意して力を盡す者少なからずして前途無量ありと雖も獨り鐵道事業に至ては其進歩遅々として一向に歩取らざるものゝ如し日本國の人口面積に割合はして鐵道哩數の法外に少なきは我輩の常に堪へ難く思ふ所なれども今これを別にして其少哩數の鐵道を經營する方法の拙劣なるも亦た充分に人をして長大良久を費さる其營業方法は十數年來殆んど改良したるみとなく不都合極まるものにして之を西洋諸國の鐵道に比すれば固より國日の談にあらず左れば三千哩の鐵道も實験の財産より捨てるときは或は英米鐵道の三百哩にも及ばざるみとならん日本の鐵道は馬車鐵道の少しく進歩したるものに過ぎずと云はるゝも我輩は辨解の辭に苦しむ者のなり畢竟するに斯る不都合の生ずる所以のものは鐵道の役員が自家の業務の性質を解せぬ嘘一貫に節儉して收入と支出との差を大にせんみと是れ勉公衆の資金を忍はず又自家達大の利害を括らず守舊一偏の方針を以て改進世界中の最改進的事業を營さんとするが爲めのみ在れば我輩は彼等の顯著より斯る不都合の妄想を一擧するの手段として先づ兒今の官私鐵道業者が協議して一の團體を作り之を鐵道會と名のにて開けで専ら自家の業務に關する萬般の事柄を御覽するの路を開かんことを掲げて爲めに我國鐵道業の發展を期すに至らんかと鐵道の業界に望を属する所才と可けれども就ては當業者の意見も多様みるとならんかと思ひ或は現在の私設鐵道懸話會なるものに

卷之三

畫するのみと能はざるは勿論時に或は地方官吏を召集して種々諮詢する處あるも概ね畫譜にして更に参考に賣するのみと能はざる云ふ左れば之を合併するに就ては必ず中央政府より官吏を派し實地を探査したる後に非ざれば實行するのみと能はざるを以て地方制度の更革は到底一朝一夕に終了するのみとなるべし又各道の監督なるものは其區畫甚だ漠大に失し實際に不便なるると多きを以て之を廢止し更に區分して全國を二十乃至二十二

地方制度の更革最も困難なるべしとは兼て報道したる所なるが當局者も此の點に關しては今に至るも妙案を案出するみと能はず種々取調中なる由目下地方の行政區畫は大、中、小邑を合して三百廿七なるが所謂大邑と稱するものにても我邦の一都よりは狹少なるを以て地方制度を更革するに方り是非共之を合併して適宜の區畫を定めざるべからず然るに之と合併するに就ては土地の形勢及び位置往來の偏不眞山川の位置形狀等のみより人情風俗及び各邑の歴史等を審かにするみると最も肝要なれども元來朝鮮には地方のふとに關して少しの記録もあらずれば到底中央政府の机上に於て之を採

せざるに至りしかば、御職員の選任に、も満乎<sup>まん</sup>賛成の市井を生じたり斯る擬議改革費三百萬圓も先づ首尾克く貸入るしむとを得、既にその幾分は國庫の内に入りて、第三四箇月の間に於て預々入金あるみどならん官制及び之に附隨する諸法令は既に脱案し日下公文體に翻譯中なれば兩三日中に開議を開き決議次第發布せらるべし而して滿廷の諸官僚何れも眼を官制發布後に注ぎ是れより事務も漸く舉行せらるゝならんと期し一日も發布の早からんふと新らねものはなし道の香氣性なる諸官僚も昨年七月以來行政機關の運轉中止し餘り事なきに倦み果ても斯くは思ふものなるべしと云ふ

二種立となすの方針なりと云ふ  
官制實施の期  
去る轉暦十五日には官制を發布する旨なりしも華備未だ  
きまつる處わらるるを以て眞正し遂に今日こ及ば

れば實行するふと認はざるを以て地方制度の更革は到底一朝一夕に終了するふとなかるべし又各道の監督なるものは其區畫甚だ漠大に失し實際に不便なるふと多きを以て之を廢止し更に區分して全國を二十乃至二十二

盡するみど能はざるは勿論時に或は地方官吏を召集して種々諮詢する處あるも概ね重譲にして更に参考に實するのみ能はずと云ふ左れば之を合併するに就ては必ず中央政府より官吏を派し實地を探査したる後に非ざ

地の形勢及び位置往來の便不關山川の位置形狀等のみより人情風俗及び各色の歴史等を審かにするふと最も肝要なれども元來朝廷には地方のみとに關して少しひの記録もあらざれば到底中央政府の机上に於て之を豫

地方制度の更革最も困難なるべしとは兼て報道したる所なるが當局者も此の點に關しては今に至るも妙案を案出するふと能はず種々取調中なる由目下地方の行政區劃は大、中、小邑を合して三百廿七なるが所謂大邑と稱するものにても我邦の一都よりは狹少なるを以て地方制度を更革するに方り是非共之を合併して適宜の區劃を定めざるべからず然ることを合議すると就ては土

せざるに至りしかば、御職員の選任に、も満乎<sup>まん</sup>賛成の市井を生じたり斯る擬議改革費三百萬圓も先づ首尾克く貸入るしむとを得、既にその幾分は國庫の内に入りて、第三四箇月の間に於て預々入金あるみどならん官制及び之に附隨する諸法令は既に脱案し日下公文體に翻譯中なれば兩三日中に開議を開き決議次第發布せらるべし而して滿廷の諸官僚何れも眼を官制發布後に注ぎ是れより事務も漸く舉行せらるゝならんと期し一日も發布の早からんふと新らねものはなし道の香氣性なる諸官僚も昨年七月以來行政機關の運轉中止し餘り事なきに倦み果ても斯くは思ふものなるべしと云ふ